

**「健やか親子21」次期計画に向けた
課題及び指標の構成について**

次期計画における課題の概要

課題名		課題の説明
基盤課題 A	学童期・思春期から成人期に向けた保健対策	児童生徒自らが、心身の健康に関心を持ち、より良い将来を生きるため、健康の維持・向上に取り組めるよう、多分野の協働による健康教育の推進と次世代の健康を支える社会の実現を目指す。
基盤課題 B	切れ目ない妊産婦・乳幼児保健対策の充実	妊娠・出産・育児期における母子保健対策の充実に取り組むとともに、各事業間や関連機関間の有機的な連携体制の強化や、情報の利活用、母子保健事業の評価・分析体制の構築を図ることにより、切れ目ない支援体制の構築を目指す。
基盤課題 C	子どもの健やかな成長を見守り育む地域づくり	社会全体で子どもの健やかな成長を見守り、子育て世代の親を孤立させないよう支えていく環境づくりを目指す。具体的には、国や地方公共団体による子育て支援施策の拡充に限らず、地域にある様々な資源(NPO や民間団体、母子愛育会や母子保健推進員等)との連携や役割分担の明確化が挙げられる。
重点課題①	「育てにくさ」を感じる親に寄り添う支援	親子が発信する様々な「育てにくさ ^(※) 」のサインを受け止め、丁寧に向き合い、子育てに寄り添う支援の充実を図ることを重点課題の一つとする。 (※)「育てにくさ」とは：子育てに関わる者が感じる育児上の困難感で、その背景として、子どもの要因、親の要因、親子関係に関する要因、支援状況を含めた環境に関する要因など多面的な要素を含む。「育てにくさ」の概念は広く、一部には発達障害等が原因となっている場合がある。
重点課題②	妊娠期からの児童虐待防止対策	児童虐待を防止するための対策として、①発生予防には、妊娠届出時など妊娠期から関わるのが重要であること、②早期発見・早期対応には、新生児訪問等の母子保健事業と関係機関の連携強化が必要であることから重点課題の一つとする。

「健やか親子21」次期計画における指標の構成について

現行の「健やか親子21」	第4、5回検討会(案)	修正案
<p>【保健水準の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・達成すべき QOL を含む住民の保健水準を示すもの。 ・住民や関係機関等が目指すべき方向性の指標。 ・取組の結果、最終的に得られる指標。 	<p>【アウトカム指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が目標とする指標の中心となるもの。 ・結果の指標であり、保健水準、QOL、さらに健康行動も含む。 ・国民の行動や活動の評価につながる指標を設定することもある。 	<p>【健康水準の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標に向けた全体的な評価指標(アウトカム指標)となるもので、「健康行動の指標」の改善の結果を示すものである(例:保健統計や QOL)。 ・国全体で改善を目指す指標。
<p>【住民自らの行動の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各課題を達成する上で住民一人一人が取り組むべき事項を示すもの。 ・親子や各家庭での保健行動や生活習慣に関する指標と、知識・技術などの学習の指標が含まれる。 ・ノルマ的な意味合いを持つ達成すべき努力目標。 	<p>【アウトプット指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アウトカムを達成するための事業。 ・主に地方公共団体での計画に地域の状況に応じて明示するもので、アウトカム評価に対する理由を探ることができる。 ・アウトカムの評価にあたって、取組(アウトプット)が十分であったかを評価する。 	<p>【健康行動の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康を阻害する個人の行動や環境要因(自然環境、社会環境など)に関する指標。 <p><例></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 妊娠中の妊婦の喫煙率、飲酒率 ◇ マタニティマークを知っている国民の割合 など
<p>【行政・関係機関等の取組指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業の実施、サービスの提供、施設・設備の整備など資源・環境の整備に対して行政や関係機関・団体が寄与しうる取組。 ・行政・関係機関などの取組の成果をモニタリングするための指標。 	<p>【プロセス指標(ストラクチャー指標を含む)】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過程を表す指標であり、アウトプットからアウトカムに至る過程の指標。 ・主に地方公共団体での計画に地域の状況に応じて明示するもので、アウトカム評価に対する理由を探ることができる。 ・取組(アウトプット)は十分にもかかわらず、アウトカムが不十分な場合に、そのプロセスを検討する。 	<p>【環境整備の指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方公共団体や、専門団体、学校、民間団体、企業等の取組、各種関係団体との連携に関する指標。 ・健康行動の指標の改善に向けた支援体制の整備に関する指標。 <p><例></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 特定妊婦、要支援家庭、要保護家庭等支援の必要な親に対してグループ活動等による支援(市町村への支援も含む)をしている県型保健所の割合 など
	<p>【注視する指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・具体的な目標値は掲げないものの、データの推移等を継続的に注視することが必要と考えられる指標。 <p><例></p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 新生児死亡率、乳児死亡率 など 	<p>【参考とする指標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標を設定しないが、今後も継続して経過を見ていく必要があるもの。 ・現段階では目標を含めた指標化は困難であるが、「参考とする指標」として取組を促し、中間評価以降において、目標を掲げた指標として設定を目指すものも含む。